

CASE：アマモ種まきへの参加

マルハニチロ（株）は、2024年12月1日（日）に「東京湾UMIプロジェクト」の活動の一環として、アマモの種まきを初めて株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：岡村信悟、以下DeNA）と合同で実施し、両社社員・家族含め総勢約100名が参加しました。

「アマモ場再生活動」は、水質浄化や二酸化炭素を吸収・固定する機能を持ち、海の生き物の生息場所にもなる「アマモ」を再生させる活動のひとつです。マルハニチログループは2016年より本活動に取り組み、国土交通省の「東京湾UMIプロジェクト（東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト）」協力企業にも選定されています。今年の5月に当社が実施したアマモの花枝採取イベントで集めたアマモの種を使用して、当日は種まきを行いました。参加者は、溶けて海に還る天然素材で作られた播種（はしゅ）パックに、泥と砂とともにアマモの種を数粒入れ、ダイバーが海中に埋めました。埋めた種は冬の間には発芽し、5月下旬頃に花枝がのびて花が咲き、再び種ができます。



参加者全員での集合写真

海の恵みを事業の資本としているマルハニチログループとして、今後も積極的に持続可能な海洋環境を創造していくための活動に取り組んでいきます。